

第10回 宮崎海岸侵食対策検討委員会

IV. その他

- (1) 平成23年度工事の予定（概要） 1
- (2) 今年度の取り組みと今後の予定（委員会、技術分科会、談義所） . 4

(1) 平成23年度工事の予定 (概要)

※: 養浜材の量については未確定

場所	材料	施工量	主な目的	備考
一ツ瀬川 右岸 (陸上養浜)	一ツ瀬川 掘削土砂 (中央粒径0.3~0.6mm)	約0.3万m ³ (10月完了)	○ニツ立海岸、大炊田海岸への土砂供給 (機能①: 土砂供給)	県漁港 との連携
大炊田 (陸上養浜)	県バイパス道路工事 県河川掘削工事 発生土砂 (中央粒径については 現在土質試験中)	約2.6万m ³ (1月予定)	○応急対策 ○浜崖後退の箇所への土砂供給 (兼機能①: 土砂供給)	県道路 県河川 との連携
動物園東 (陸上養浜)	宮崎港仮置土砂 (中央粒径0.2mm)	約1.1万m ³ (1月予定)	○応急対策 ○浜崖後退の箇所への土砂供給 (兼機能①: 土砂供給)	—
動物園東 (試験施工)	サンドパック	約60m (予定)	○現地実験(国総研・企業)	—
住吉海岸沖 (海中養浜)	宮崎港航路拡幅 浚渫土砂 (中央粒径0.16~0.2mm)	約0.7万m ³ (12月予定)	○レストハウス前等への土砂供給 (機能①: 土砂供給) ○効率的な養浜方法の検討	国港湾 との連携



(1) 平成23年度工事の予定 (一ツ瀬川河口右岸:実施済)

□ 目的

- 侵食が著しい箇所(二ツ立海岸、大炊田海岸)への土砂供給

□ 連携

- 漁港事業(県)と連携した養浜

- ・材料 : 一ツ瀬川浚渫土砂
- ・養浜量 : 約0.3万m³実施



(1) 平成23年度工事の予定 (住吉海岸沖)

□ 目的

- 港湾浚渫土砂の養浜材としての利用可能性検討
- 効率的な養浜方法の検討(海中養浜)
- 侵食が著しい箇所(一ツ葉有料道路PA付近)への土砂供給

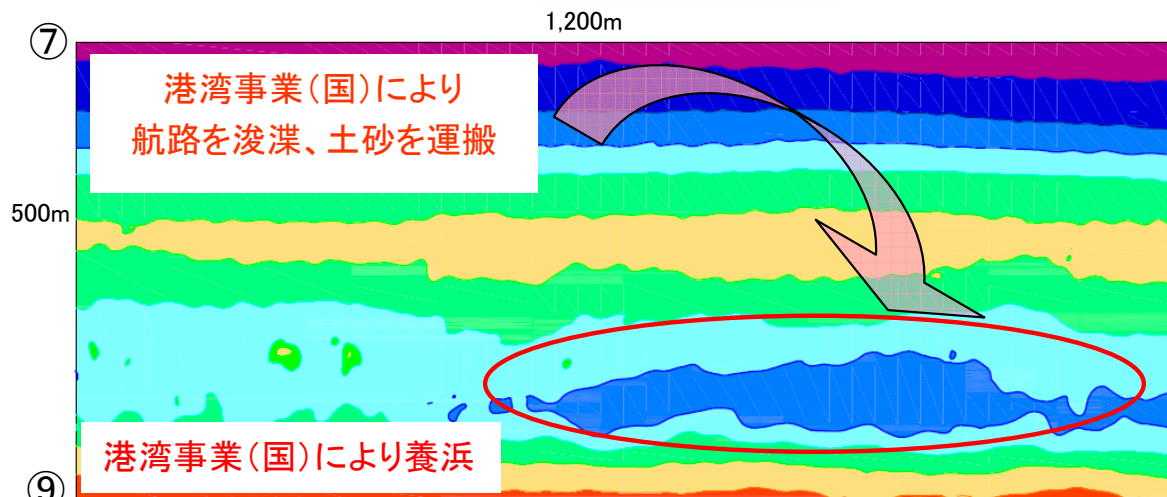
□ 連携

- 港湾事業(国)と連携した養浜

□ 実施予定期間

- 平成23年12月～平成24年3月

- ・材料 : 宮崎港浚渫土砂
- ・養浜量 : 約7千m³(海中養浜)



(2) 今年度の取り組みと今後の予定(委員会、技術分科会、談義所) - 4 -

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月～3月
----	----	----	-----	-----	-----	-------

市民談義所

- ◆ 第12回【H23年7月10日】
- ・宮崎海岸の侵食対策(案)の提示
- ・侵食対策(案)に関する談義

- ◆ 第13回【7月17日】
- ・宮崎海岸の侵食対策(案)の提示
- ・第6回技術分科会結果の報告
- ・技術分科会委員との意見交換

第12回談義所以降、談義所に参加できない人等、多くの市民に情報提供し意見を聴くための取り組みを実施(オープンハウス、資料閲覧コーナー、地元代表者への説明)

- ◆ 第14回【10月6日】
- ・侵食対策(案)の振り返り
- ・突堤の素材・形状に関する談義

- ◆ 第15回【11月13日】
- ・侵食対策(案)の理解
- ・侵食対策(案)を進めていく上での配慮事項等に関する談義

- ◆ 第16回【11月21日】
- ・第7回技術分科会の報告と意見交換

技術分科会

- 第6回【7月17日】
- ・侵食対策に必要な機能のおさらい
- ・宮崎海岸保全の基本方針(案)の検討
- ・宮崎海岸の侵食対策(案)の検討
- ・侵食対策(案)に関する市民意見の確認・検討

- 第7回【11月21日】
- ※第16回市民談義所との合同開催
- ・委員会における付託事項の検討
〔突堤の規模、構造、施工順序等〕
〔隠し護岸の具体的な構造、安全性等〕

委員会

- 第9回【8月22日】
- ・第8回委員会までの検討結果の振り返り
- ・「宮崎海岸保全の基本方針」及び「宮崎海岸の侵食対策」の検討
- ・技術分科会への付託事項

- 第10回【12月予定】 **※今回**
- ・「宮崎海岸の侵食対策」の検討